

タイトル『汐製菓会社の新作 90
ヌガー5』

【登場人物】

・ 汐（しお）（30代）

汐製菓会社社長。モットーは「面白きことも無き世を面白く」。斬新で少し突飛なアイデアを次々に出すが、社員たちはそれに振り回されがち。どこか憎めないカリスマ。

・ 塩田（しおだ）（30代）

汐の秘書。真面目で慎重派だが、実はお菓子好きで、汐製菓に入社。社長の無茶な発案に頭を抱えつつ、内心ではそのチャレンジ精神に憧れも抱いている。

・ 菊地（きくち）（20代）

マーケティング担当。普段は無難な商

品を推す慎重派で、変わった企画には消極的。

・ **中野（なかの）**（40代）

製造担当。職人気質で少々頑固だが、仕事には真面目。無茶なアイデアにも対応してきたベテラン。

【あらすじ】

汐製菓の社長、汐は「キウイ・ライチ味のヌガー」という前代未聞の新商品を発案。社員たちが渋々試作に取り掛かるが、意外な形で話題になり、国内外から注目を集める。次々に出る予想外の反応や困難を乗り越え、社員たちが一丸となって成長する様子を描くコメディ作品。

シーン1：新商品開発会議（約10分）

【場面：会議室】

社員たちが集まり、汐製菓の社長・汐がホワイトボードの前に立っている。

汐：「皆さん、お待たせしました！これが汐製菓の新作、未来の人気商品、その名も『又ガ―』！」

ホワイトボードには「キウイ・ライチ味又ガ―」
と大きな文字が書かれている

菊地（眉をひそめて）：「社長：また突飛なアイデアですね。キウイとライチって、又ガ―に合
うんですか？」

汐（自信満々に）：「合うんだよ！キウイのフレッシュさとライチの甘さで、全く新しいフルー
ティーな又ガ―になるんだ！」

塩田（心配そうに）：「でも、社長、又ガ―は
甘いお菓子です。果たして、この新しい味が受
け入れられるか心配です…」

汐（大げさに）：「心配しなくても大丈夫
だ！このアイデアが皆に愛されるのは間違
い！さあ、菊地君、リサーチを頼む！」

菊地（やや戸惑いながら）：「はい、社長。マ
ケティング戦略を考えますが：ターゲット層
はどのあたりですか？」

汐（楽しそうに）：「もちろん、新しいもの好き
な若者たちと、フルーツ好きな女性たちさ！
これは、海外にも受ける可能性があると思
うんだ！」

社員たちは顔を見合わせ、少し不安な表情
を浮かべる。

中野（真剣に）：「でも、又ガーは元々しつとり
甘いお菓子ですよ。キウイとライチの酸味
がどう融合するのか：実際に試作しないとわ
かりませんね。」

汐（微笑みながら）：「だからこそ、新しい挑戦なんだ！甘さだけじゃなく、フルーティーで爽やかな『次世代又ガー』を作り出すんだ！皆、頑張ってくれたまえ！」

社員たちは無理やり納得したような顔をしつつ、渋々承諾する。

塩田（心の声）：「また…社長の奇抜なアイデアに振り回される予感がする…」

シーン2：試作に四苦八苦（約15分）

【場面：試作キッチン】

製造担当の中野と塩田がキッチンで試作品を作っている。キウイとイチの果汁を混ぜた又ガーを味見するが、顔が微妙になる。

中野（眉をひそめながら）：「塩田さん、これ、ほんとに商品化するんですか？」

塩田（真剣に）：「私も疑問ですが、社長の指示ですからね…。でもこのままだと、酸っぱすぎるような…」

何度も配合を変えて試すが、なかなか納得のいく味が作れない。

中野（疲れた表情で）：「このキウイとライチの匂いが鼻に残ってしょうがないですよ…もうダメかもしれません…」

塩田（励ますように）：「大丈夫です。新しい商品を作るにはそれくらいの覚悟が必要ですから、頑張りましょう！」

もうやくバランシスの取れた試作品が完成し、二人とも達成感に浸るが、そこに汐が登場する。

汐（興奮気味に）：「おお、いい感じじゃないか！…ただ、見た目をもっとインパクトある感じにして、斬新なデザインを加えよう！」

中野（呆れ顔で）：「また無茶を…どうやってデザインを変更するんですか？」

塩田（ため息をつきながら）：「社長のやる気はわかりますけど、工程が増えるのは確かです
ね。」

汐は無邪気に笑って、みぶに新しいマイデマを出し続ける。

汐：「だって、これがヒットしたら、皆に驚きと喜びを与えられるんだから！さあ、どんなデザインにするか考えよう！」

シーン3：国内試食会の準備と反応（約10分）

【場面：試食会会場】

テーブルには出来上がった「キウイ・ライチ味
ヌガー」が並べられ、業界関係者やインフルエ
ンサーが集まっている。

汐（自信満々に）：「皆さん、これが新商品の
『ヌガー』、ぜひお楽しみください！」

来場者が一口試してみるが、微妙な表情を
浮かべる者が続出する。

インフルエンサーA：「これは…不思議な味わい
ですね。ライチの香りはいいけど、ちよつとクセ
があるかも。」

バイヤーB：「キウイの酸味が効いてて面白い
ですが、万人受けするかはちよつと…」

社員たちは動揺しているが、汐は堂々と意見を
を聞く。

塩田（心の声）：「やっぱり…。この感じ、絶対
無理があると思ってたのに…」

しかし、来場者の中には「意外とウセになる」と好意的な反応も少しずつ見え始める。

客C：「ちよっとびっくりしましたが、後味が爽やかで良いです！」

場内にのみ彼の発言のみに反応が広がり、SNSでも「変わった味」「意外にハマる」と話題に。

シーン4：SNS戦略と拡散（約10分）

【場面：オフタイム】

塩田と新地が試食会の反応をSNSで確認している。

塩田：「社長…SNSでは結構好意的なコメントが増えてます！」

汐（自信たっぷり）：「だろう？新しいものは、初めは皆驚くが、やがて虜になるんだ！」

菊地（興奮しながら）：「若い世代からの反応がいいですね！これ、いけるかもしれません！」

社員たちが次々とSNS投稿を行い、反響が徐々に増えていく。

塩田：「もっと多くの人に知ってもらうために、インフルエンサーとのコラボも考えませんか？」

汐（目を輝かせて）：「いいアイデアだ！インフルエンサーにヌガーを紹介してもらおう！バズらせるんだ！」

社員たちは新たな戦略に熱意を持って取り組み始める。

シーン5：海外進出に向けた打ち合わせと準備（約10分）

【場面：会議室】

海外のバイヤーとの商談が行われている。汐が自信満々にプレゼンテーションを行う。

汐：「このキウイ・ライチ味ヌガーは、すでに日本で注目を集めています！皆さんの国でも受け入れられると思います！」

東南アジアのバイヤーが首をかしげる。

東南アジアバイヤー：「ライチは人気ですが、もう少し酸味を控えたほうが良いかもしれません。」

南米バイヤー：「こちらではキウイの酸味が少し強いですね。現地に合わせて甘さを増やせばもっと受けるかもしれません。」

塩田（すぐにメモを取りながら）：「わかりました。それに合わせた改良が必要ですね。」

社員たちは各国の要望に応じて商品の改良が必要と理解し、再び試作に励むことを決意する。

シーンの：東南アジアでの試食会（約10分）

【場面：東南アジアの試食会会場】

バイヤーやメディアが集まる中で、試食会が始まる。汐が手を叩きながら皆に試食を促す。

汐：「さあ、これが私たちの新しい『ヌガー』です！ぜひ、感想を聞かせてください！」

来場者たちが試食し、反応が気になる汐と社員たち。

東南アジアのバイヤー（少し驚いた顔で）：

「うん、ライチの香りが素晴らしい！酸味が

少し強いですが、これは面白い商品ですね！」

メディアの：「動画でも紹介したいです！食感が新しくて、すくいいです！」

現地での反応が上々で、社員たちは安堵する。

塩田（嬉しそうに）：「やった、成功ですね！これで他の国にも広がるかもしれません！」

シーン7：南米でのプロモーションと苦戦
(約10分)

【場面：南米の試食会会場】

南米での試食会では、酸味が強いとの指摘が続き、苦戦する。

南米のバイヤー（苦笑いしながら）：「もう少し甘さがあれば、現地で好まれるかもしれない。特に私たちの市場では。」

汐は少し不安な顔をしながらも、ポジティブな姿勢を崩さない。

汐：「なるほど、皆さんの意見を参考にします！調整して、次はもっと喜ばれる味にしましょうー」

塩田は頷きながらも、ちよつとした不安が胸をよぎる。

塩田（心の声）：「果たして、次の試作で本当にうまくいくのか…」

シーン：SNSでの海外反響と国内での再ブーム（約10分）

【場面：オムニバス】

海外での反響がSNSで広まり、日本でも再注目される。社員たちは画面を見ながら興奮している。

塩田：「社長、SNSでの反応が急増しています！『海外で大人気！』って投稿がバズります！」

汐（ガッツポーズ）：「やった！これがまさに『汐製菓の挑戦』だ！」

菊地（喜びをかみしめながら）：「もっと多くの人に知ってもらうために、インフルエンサーとのコラボも考えましょう！」

汐（目を輝かせて）：「いいアイデアだ！この波に乗って、もっと広げよう！さあ、計画を立てよう！」

シーン⑥：次のチャレンジ（エピソード・約9分）

【場面：会議室】

汐が新しい商品アイデアを発表する場面。社員たちはまたもや驚愕するが、今度は笑顔で挑戦しようとする。

汐（ワクワクしながら）：「さあ、次は『ワサビチヨコ味のヌガー』だ！これもみんなを驚かせるぞ！」

全員の驚きの顔が映り、社員たちはどろろか楽しみに微笑みながら、また新たな挑戦に挑む決意を固める。